

福島日仏協会2024年クリスマス会を開催しました

太田英晴理事長の挨拶は、講演会開催に至った理由を述べ、ご出席来賓の方々へ感謝の気持ちを伝えられました。12月2日、早々の開催でしたが48名の出席がありました。

今年は、講演会「フランス人のクリスマスと過ごし方」と題して講師はアリアンス・フランセーズ仙台院長の、ゲナエル・ルユデック先生です。会場は、セント・ヴェルジェ教会でフランス風パーティーのようで良い雰囲気です。フランスの家庭ではどのようにクリスマスを楽しんでいるのかをプロジェクター画像を見て頂きながら伺いました。



挨拶する太田英晴理事長



貸切りパーティー会場



ゲナエル・ルユデック院長



講演後クリスマスプレゼントを贈る 院長と青山民子さん

先生「ブルターニュ地方のクリスマスのお話です。子供にとっては、近づくにつれて1年の中で一番楽しみな行事です。私は26ユーロ4,000円前後のツリーセットを買って家庭で飾りました。サンタさんへ手紙を書いて郵便局に出します。郵便サービスとして、サンタさんから返事の手紙が家庭に届きます。

『良い子にはプレゼント、悪い子には「石」しか届かないよ』の教えがあります。日本の「なまはげ」的なお仕置きと思って下さい。各々の家庭での風習があります。

夕べには牡蠣を食べます。ローストチキンも母が作ります。お手製のケーキ(新型ノエル)、パピオ(白クリーム巻状菓子)もあります。親子でお互いに『良いお年を Joyeux Noël』と言い合いながらクリスマスの夜を過ごします。家庭では子供が中心のクリスマスです。」

非常にわかりやすい、また童心に帰るクリスマスの話でした。

講演が終了後、来賓ご紹介となり5名の方を紹介した後、会員で初めて出席された5名のご紹介もありました。仙台日仏協会会長 田中正人様、副会長 飯岡智様、副会長 佐藤万里子様、福島市国際交流協会会長・福島市長 木幡浩様、NHK福島放送局局長 塩塚圭輔様、前衆議院議員 亀岡偉民様、会員5名は井田裕子様、蔵敷和歌子様、生江裕美子様、山下靖子様、安齋令様でした。例年のクリスマス会より出席者が多く、1組限定のパーティー会場が程よく賑やかで、パーティーの盛り上がり期待出来るスタートです。

祝電披露の後、パーティーご挨拶は、仙台日仏協会会長田中正人様から頂き「日頃から郵送される『会報誌』で拝読していますが

福島日仏協会の活動には敬意を表しています。太田理事長が渡仏されパリ ホテル・ドゥ・クリヨンで会合された、下川駐仏日本大使、鈴木パリ日本文化会館館長、チュイザ仏最優秀ソムリエ長等との交流を通して、最高級ホテル内「大七ウィーク」で大七酒造の日本酒プロモーションが好評を博した様子は日本酒が認められていることの証で、今後も日仏交流に貢献される事、期待しております。」とお褒めの言葉を頂きました。

続いて乾杯のご発声は、郡山市長品川万里様から頂きました。

懇親の時間となり、美味しい料理を味わいワイングラスを傾げるステージとなりました。会員同士、久々の顔合わせで話がはずみました。調理界重鎮菅野喜代治会員は、会場の古山和行総料理長とも挨拶され話が弾んだようでした。名残惜しいところ、中締めとなり渡邊博美副理事長の挨拶で閉会となりました。

皆様、ご出席ありがとうございました。

高度成長途上のベトナムを実感

12月、仕事でベトナムのホーチミン市を訪ねました。ベトナムという国名は、漢字の越・南から来ているそうです。しかしながら現在のベトナム語表記には漢字の面影は無く、フランスの宣教師がもたらしたというアルファベットをベースに作られている由。子供たちは膨大な漢字に悩まされることなく育つお陰か、昔から識字率が高い勤勉な国民性で知られています。

かつて、フランスの植民地になりましたが、現地であまり反仏感情は感じられません。旧宗主国フランスの影響をも、自国ベトナム料理の洗練や、東洋と西洋が融合したコロニアル様式の魅力的な街並みに上手に利用している印象があります。むしろ反発や警戒心は、最も最近まで戦争をしていた中国に対して向けられていると言えそうです。

日本に対しては概ね親日的と言ってよく、ベトナム人はアジア最初の先進国である日本をモデルにしています。勤勉な国民性や手先の器用さ、東南アジア圏なのに料理が辛いところ等々、日本とベトナムはよく似たところがあります。南北に細長い国土も日本に似ていて、北のハノイと南のホーチミンでは、東北と九州くらい気候も雰囲気も異なります。しっとりした穏やかさをもつハノイと、エネルギッシュで都会的なホーチミン。今回の私の目的地はホーチミンのほうでした。

東洋のパリとも称されるホーチミン市ですが、フランス統治時代の面影が残るのはむしろ古都ハノイのほうで、発展著しいホーチミンは、真新しいビル街や間もなく開業する地下鉄駅の印象のほうが強いです。今やベトナムの人口は1億人を超え、国産の高級車ヴィンファストを海外に輸出するほどの発展ぶり。富裕層や中産階級も増えてきていますが、何よりも、国民の平均年齢が33歳と若い、まさにこれからの国だと言えます。



川に面したホーチミン市の街並み

さて、今回の出張は、市内中心部の高島屋百貨店がある目抜き通りに新築された、8階建てビルのグランド・オープニングに出席するため、何と最上部の3フロアは「ダイシチ・ラウンジ」と名付けられているのです。

慌ただしくホーチミン市に着いた日の深夜、折も折、南米パラグアイで開かれたユネスコの会議では、日本の「伝統的酒造り」が無形文化遺産に登録決定。そのため



セレモニーの主賓たち(完成したビルの前で)

翌朝には、私はNHKから感想コメントを求めるインタビューを、国際電話で受けねばなりませんでしたが、早速この話題をセレモニーでのスピーチに用いて喝采を頂きました。

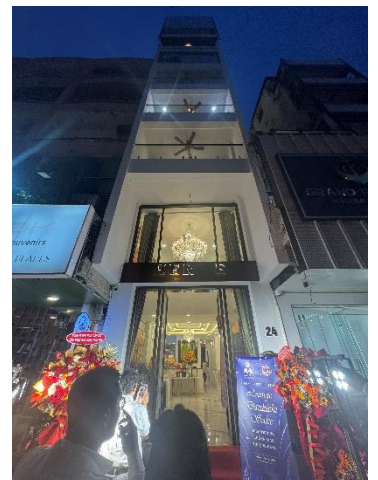
当夜のセレモニーでは、専属のカメラマン達が華やかなゲストの皆さんを、この日のイベントだけのために作られた見事な大型パネルの前で、

何度も記念撮影。政府の要人や、国民的な人気の有名歌手も登場して、ビルのオーナー夫妻や私も一緒に並んでテープカットを行いました。ドレスアップした方々と共に、「ダイシチ・ラウンジ」においてディナーが催されましたが、実は、「風水」によって決めたという開業式の日までに突貫工事でも完成が間に合わず（交通量の多い繁華街に位置するため、建設資材の搬入が深夜にしか許されなかったためとか）、一部、不完全さを残しての見切り発車でした。オーナーによれば、1月にはよりグレードアップした本当の完成に至るそうで、これも楽しみです。

ベトナムは、南国の風景が色彩鮮やかなだけでなく、人々の気質も派手めでエネルギッシュです。もともと、これは高度経済成長を遂げていた1970年代当時の日本も同様だったのかも知れませんが、今のベトナムの皆さんは、自国の将来の発展を確信して、前向きな自信に溢れています。3年で2倍、のような急成長が当たり前で語られるのです。

一方では、昨年家族で訪ねた牧歌的な奥地サパも、同じベトナムです。これまた、都市化に全力でひた走る東京と、昔のままの田舎が併存していた、かつての日本を連想しました。田舎の良さにも自信を持って、大切にしたいと思ったものです。

理事長 太田英晴



グランドオープンしたビルディング

私のフランス語日記 **Mon journal en français**

長谷川 孝 (会員)

**Mon voyage en Tunisie**

Il y a plus de dix ans, j'ai fait un voyage en Tunisie. Ça s'est passé si longtemps que j'ai oublié des détails, je ne me souviens que des événements impressionnants. Je vais raconter ce qui reste précis dans mon esprit.

La Tunisie se situe sur le continent africain. Avant mon arrivée en Tunisie, j'avais l'impression que ce pays était couvert d'un nuage de poussière, en réalité, la capitale Tunis qui donne sur la Méditerranée est une ville comme celles du Sud d'Italie. La Tunisie a été sous protectorat français jusqu'en 1956. Le long de l'avenue, il y avait de grands bâtiments à la française, sur la plage on apercevait des maisons blanches à la grecque. La ville de Carthage très ancienne dans l'histoire, qui se situe dans la banlieue de Tunis, elle a été un endroit à la croisée de civilisations anciennes. On pouvait suivre les empreintes de civilisations anciennes, en particulier, les vestiges romains étaient bien conservés, ça nous montre la prospérité d'autrefois.

Les Tunisiens parlent français couramment, les jeunes parlent l'anglais aussi. Quand j'me suis adressé à un jeune homme en français, il m'a répondu en anglais. Je suis entré par hasard dans une plutôt grande librairie, plus de la moitié des étagères était occupée par les livres français, les livres en arabe étaient moins nombreux.

Un jour, à 6 heures du matin, j'ai trouvé une longue queue devant l'ambassade de France que quelques gendarmes contrôlaient avec le fusil sur l'épaule. C'étaient des Tunisiens qui demandaient un visa pour la France. Compte tenu du nombre des personnes, il m'a semblé impossible de régler ça en un jour. Peut-être il y a des personnes qui auraient dûes faire la queue un autre jour. À cette époque, la situation économique tunisienne ne marchait pas bien, nombreux étaient les Tunisiens qui cherchaient du travail à l'étranger. Comparé à l'économie, l'ordre public était bien maintenu, pas de problème, même dans la nuit.

Lors de ma visite, c'était fin août jusqu'à début septembre. Le climat était rude en plein été. Je savais qu'il y avait le ramadan dans les pays musulmans. À ma surprise, le ramadan a commencé au deuxième jour de mon voyage. Au premier jour, je me suis promené un peu partout dans la capitale sans souci. Aussitôt que le ramadan a commencé, j'étais un peu paniqué, tous les restaurants que j'avais remarqué étaient complètement fermés pendant la journée..

チュニジア旅行

10 数年前にチュニジアを訪ねた、だいぶ前なので詳細は記憶から消えてしまったので、特に印象深く記憶に残っていることを、述べてみたい。

チュニジアはアフリカ大陸にあるので、当初砂埃の舞う都市を連想していたが、首都チュニスには地中海に面するせいかイタリア南部のような都市であった、1956年に独立するまで、フランスの保護領だったので、フランス式の立派な建物が有り、海岸沿いには白を基調とした、ギリシャ風の家屋を見ることができた、チュニス近郊のカルタゴは古代文明の十字路口だったため、様々な国の影響が見て取れる、特に古代ローマ時代の遺跡がよく保存されており、古代国家として栄えていたことがわかる。

チュニジアの人はたいていフランス語を話す、若者は英語も話す、フランス語で話しかけると英語で返事されたこともあった、チュニスの大きな書店にはアラビア語の本よりフランス語の本のほうが多く棚を占めていた。

早朝6時頃フランス大使館の前に長蛇の列ができており、小銃を肩にした兵士が規制していたのに出くわした、フランス行きのビザを求めてとの事だが、到底一日で処理できるような人数ではなかった。多分何日もかけてビザ申請するのだろうと思った、当時チュニジアは、景気が悪く出稼ぎで生活している世帯が多かった、ただ治安はよく、夜間外出しても問題はなかった。

私が訪ねたのは8月の終わりから9月にかけてであり気候は真夏だった、イスラム圏にはラマダンがあることは知っていたがまさか真夏にラマダンが始まることは予想してなかった、着いた日はのんきにあちこち見学していたが、次の日からラマダンが始まると聞いて慌てた、何とレストランや食堂は日中完全に閉まっており、何件もの商店を訪ねてやっとパンにありつける状態だった、地方都市にはフランス語と英語を話す借り上げタクシーで移動したが運転士は決して水も飲まずただ口をゆすぐだけだった、真夏の炎天下何も口に入れないせいか運転はかなり不安定で、ヒヤ

J'avais des difficultés à acheter le repas pour le déjeuner . J'ai dû visiter quelques magasins. J'ai pris un taxi pour me déplacer dans des endroits régionaux, le chauffeur parlait français et anglais. Il n'a jamais mangé ou bu, il s'est seulement rincé la bouche pendant la journée. La conduite du chauffeur était un peu dangereux à cause de la chaleur, je me suis senti inquiet. Pour mon déjeuner, le chauffeur m'a emmené dans un hôtel où l'on servait les étrangers.

Après être retourné à Tunis, j'ai remarqué un restaurant dont toutes les fenêtres étaient couvertes de vieux journaux. J'ai entendu parler à haute voix, je suis entré et j'ai vu des gens qui étaient au milieu d'un repas joyeux. Je ne me suis pas senti à ma place, je suis sorti tout de suite.

C'est le souvenir qui reste dans mon esprit . Quelque années après, l'attaque du Musée du Bardo s'est passé, elle a causé la mort de plus de 20 personnes dont trois japonais. Depuis, la sécurité publique s'est détérioré.

Takashi Hasegawa

ヒヤしどうしだつた、なお地方都市では運転手が外国人を受け入れるホテルに連れて行ってくれたので昼食には問題は無かった。

チュニス戻ってから窓ガラスに全面新聞紙が貼ってある食堂があり中から人の声がしたので、入ってみると、なんと大勢の人が食事中でまるで宴会のよう、雰囲気的によそ者は居てはダメなような気がして直ちに店を出た。

以上が特に記憶に残っていることである、この数年後国立バルドー博物館でテロリストにより、日本人3人を含む20数人の犠牲者が出てにわかにな治安が悪化した。

会話教室受講生 記

パリ木の十字架少年合唱団

パリ木の十字架少年合唱団は、ウィーン少年合唱団、テルツ少年合唱団と並び世界で最も素晴らしい少年合唱団として知られています。合唱団の名前は、少年たちがまとう白いローブの上の小さな木の十字架からつけられたものです。1907年に創設された古い歴史をもつ合唱団です。ウィーン少年合唱団と同じく寄宿生の学校で学び活動していますが、変声期を迎えても学校を去ることなく高校卒業まで在籍しています。アルトパートが充実しているので混声合唱団のような響きがあります。またアカペラで歌うことが多いのも特徴です。

創設当時は主に宗教曲だけをレパートリーとしていましたが、現在ではシャンソンの名曲や外国の曲などもレパートリーとして歌っています。YouTube を見ていると、フランスのポップス歌手との共演の映像があります。しかし、一方でグレゴリオ聖歌隊として世界で最も優れた合唱団という評価も得ている合唱団です。

これまでに何度も来日しています。2016年の来日公演の際は横浜のみなとみらいホールに聴きに行ってきました。選ばれた20名ほどのメンバーが美しい歌声を披露してくれました。合唱団であっても、一人一人がソロのパートを歌う場面もあり、各自が優れたソリストであると思われました。地球上で一番素晴らしい楽器は人間の声で、特に変声期前のボーイソプラノが一番美しい音の出る楽器と言われています。そのボーイソプラノの美しさを余すところなく披露してくれました。

コンサートは2部形式で前半はグレゴリオ聖歌や荘厳な宗教曲を聴かせてくれました。後半では「パリの下



セーヌは流れる」や「バラ色の人生」などおなじみのシャンソンを聞かせてくれ、日本のファンへのプレゼントとして山下達郎の「クリスマスイブ」を日本語で歌ってくれました。そしてアンコールでは「ニャオ」と猫の鳴き声だけで歌われるロッシーニの「猫の二重奏」を歌い、観客を楽しませてくれました。

私の息子も海外公演も行った福島市少年少女合唱団（今はありません）で活動していたので、歌をきちんと仕上げることがどれだけ大変かを見ていました。子供たちを指導するだけでも大変なのに、伴奏なしのアカペラで曲を仕上げ観客を感動させるレベルに持って行くのだから、先生方、団員など関わる方たちの音楽に対しての情熱が本当に熱いのだと思います。

福島にも福島大学混声合唱団という、全国大会で入賞経験多数の合唱団があります。11月に行われた合唱の全国大会で大学生の部で銅賞に輝きました。12月28日(土)では音楽堂にて定期演奏会があります。少年合唱団と同じようにアカペラでの歌もあり、多彩なプログラムで楽しませてくれます。

佐藤 淳子（会員）

